

就職内定報告 2018

現代文化学部
国際文化・観光学科 **4**年

神奈川県／私立向上高等学校 出身

内定企業

株式会社小田急リゾート／ホテルスタッフ

事業内容：ホテルを中心とした宿泊施設の運営業務受託、レストラン業、温浴施設の運営



旅行・ホテル業界をめざした理由

実は、今まで旅行にはそれほど行ったことがなく、海外へは高校2年生の時のカンボジアへの修学旅行くらいでした。現地の小学校で小学生と異文化交流したのですが、英語が通じず…一緒に遊ぶことで身体で表現することはできても、言葉でのコミュニケーションがもどかかったのと、もっと日本のことを伝えたかったという思いから、観光系の勉強がしたいと考えるようになりました。ホテルの仕事に興味を持つようになったのは、実際にはなかなか旅行へは行けないことから、それであればホテルで働く人になりたい！と思ったからです。



大学受験時、国際文化・観光学科はキャンパスが新宿に移転したばかりで、駅からも通いやすく環境が整ってる!と思いました。入学してみると私の学年は約半数が留学生。様々な国の文化や観光に触れられて、刺激的な4年間でした。



就職活動用に準備したノート型カレンダー。説明会や面接での感想、気づいたことなどを書き込んでおき、後で何度も読み返していました。

履歴書は、手紙を書くように気持ちを込めて

4年生になる直前の3月、ホテルや旅行会社、ブライダル業界を中心にインターネットでエントリーを始めました。そして、利用路線を通じて普段から親しみのあった小田急グループ内の50社ほどにもエントリーをしました。就職活動では不安でいっぱいでしたが、大学のキャリアアドバイザーによる個人面談を利用し、親身に話を聞いてもらえたことで、それからは周りに流されず自分のペースでやっという、と思えるようになりました。

一番大変だったのは履歴書の作成です。窓口の就職支援一課では何度も添削をしていただきました。授業ではしっかり勉強しており、資格や検定試験など書けることが多かったのですが内容として困ることはありませんでしたが、個性が出るように意識して書くとなかなか時間がかかります。それでも、大事な人へ手紙を書くように気持ちを込めて書くことで、実際の面接でも自分の言葉として心から話ができるため履歴書との矛盾もなく、それが面接時の会話の自信にも繋がったと思います。

憧れていたホテルで働ける喜び

内定をいただいた(株)小田急リゾートは、小田急線沿線を中心に主にホテル事業を展開しており、「自分たちの心を表現する」という理念のある会社です。その考え方は、あのカンボジアでの経験から大学での学びを活かして将来を考えた結果と、自分のホテル業界への思いと一致し、大変嬉しく思っています。現在は、英語のほか中国語や韓国語の習得にも力を入れた語学の勉強と、説明会や内定式で出会った同期となる仲間たちとこれからの日々を待ちわびて楽しく過ごしています。入社後は、様々な部門で色々なことに挑戦して、人として成長していきたいと思っています。



文化学園大学ホームページ

<https://bwu.bunka.ac.jp/>